

やまめ

6月議会定例会
臨時議会
経済常任委員会
地方創生特別委員会
一般質問

こんなことが 決まりました

制度改正に伴い新しい農業委員が承認される

平成29年第2回五木村議会定例会が、平成29年6月13日から14日までの2日間開催、「報告」2件、「農業委員会委員の任命」6件、「条例の一部改正」1件、「平成29年度補正予算」4件、「議員提案」2件の合計15件は審議の結果、原案のとおり可決しました。一般質問では3人の議員が村政について質問しました。

《報告》

- 繰越明許費繰越計算書
- 事故繰越し繰越計算書

《人事》

- 農業委員会の委員の任命(同意)
- ・住所 五木村甲7067番地
氏名 森下 徳光
- ・住所 五木村甲218番地
氏名 中村 弘信
- ・住所 五木村甲3861番地
氏名 松井 秀夫
- ・住所 五木村甲6488番地84
氏名 中村 恒雄
- ・住所 五木村甲7282番地
氏名 尾方 重繼
- ・住所 五木村甲4262番地
氏名 印道 清子

《条例の一部改正》

- 五木村国民健康保険条例の一部を改正する条例(賛成多数により可決)

平成30年度からの国保広域化(都道府県主体化)への移行を踏まえ、国保財政の健全化を図るために段階的な税率引き上げを行う必要があるため。



主な改正内容

基礎課税額	52万円 ↓ 54万円
後期高齢者支援金等課税額	17万円 ↓ 19万円
所得割	7・80%
均等割	↓ 8・50%
平等割	21,000円
	↓ 23,000円
平等割	15,000円
	↓ 17,000円
保険税の減額	いわゆる7割・5割・2割
減税措置の税額変更	

《議員提案》

- 五木村議会委員会条例の一部を改正する条例(可決)
- 本村議会の常任委員会の委員定数5人をそれぞれ4人とする。
- 五木村議会広報の発行に関する条例の一部を改正する条例(可決)
- 本村議会の広報委員会の委員定数5人を5人以内とする。

6月定例会補正予算

会計名	補正前額	補正額	予算現額
一般会計	26億2,816万円	4,172万7千円	26億6,988万7千円
国民健康保険特別会計	1億9,566万4千円	△ 353万3千円	1億9,213万1千円
簡易水道事業特別会計	1,856万6千円	215万5千円	2,072万1千円
介護保険特別会計	2億1,011万9千円	151万9千円	2億1,163万8千円

一般会計補正予算の主なもの

総務費	納屋解体等工事（平瀬地区）	190万4千円
衛生費	八重地区飲料水供給施設改修設計業務委託料	900万円
	ごみステーション施設整備事業補助金	95万円
農林水産業費	緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金	501万円
商工費	物産館高圧気中開閉器取替修繕料	197万1千円
消防費	消火栓ボックス修繕料	44万5千円
教育費	歴史文化交流館ガイドブック（外国語版）	160万円
	燻蒸機材購入	60万円

臨時議会

平成29年第4回臨時議会（平成29年4月26日）

議案第37号	工事請負変更契約の締結
工事名	林道空舎線災害復旧工事
契約金額	当初 9,774万円
	変更 1億4,054万716円
	増額 4,280万716円
契約相手	株式会社 尾方組
議案 可決	



林道空舎線災害現場

経済常任委員会

委員会開催日

平成29年5月15日

出席者

- 全委員5名、議会議務局長
- 森林組合長、参事、総務課長、事業課長4名

開催場所

- 役員議員控室

調査事件

陳情書「五木村森林組合からの高性能機械購入の助成要望案件」

調査経過

平成29年第1回五木村議会定例会にて付託された平成28年12月13日付けで陳情書の提出があったことについて、平成29年4月20日役場農林課との協議を経て、平成29年5月15日に五木村森林組合から調査聞き取りを行った。

まとめ

森林組合は、森林作業計画に基づき班別に植付、下払、伐採から集積作業まで一連の作業をさせていく方針である。森林整備員確保の努力はされているが、依然として厳しい状況であり、事業を実施していくためには機械力に対応せざるを得ないということであった。

また、保有する高性能機械が少なくリースで対応しているが、機械をリースで確保するのは厳しいことと経費がかさむことから、今回導入計画をしているということである。

経済常任委員会としては、今回聞き取り調査をした結果、作業効率を考えると高性能機械の必要性は認識したが、リースかあるいは購入かについては森林組合の経営に関する問題であるので云々は言えないが、林業振興に対する村の補助支援については、他の事業体もある中で、村の補助規定や財源等を考慮しながら執行部で検討されることを求める。

地方創生に関する特別委員会

1. 特別委員会の目的

「五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策について調査研究するため

2. 構成

山本委員長ほか全議員（委員）10名

3. 調査に当たった期間

特別委員会設置から1年間

4. 調査の経過

期日	内容	協議事項等
H28.6.16	特別委員会の設置	山本議員より議員提案
H28.7.6	第1回特別委員会	今後の取り組みについて
H28.7.25	第2回特別委員会	まち・ひと・しごと創生総合戦略について
H28.8.18	第3回特別委員会	地区別人口の再確認について
H29.2.1	第4回特別委員会	人口ビジョンアンケート、定住促進先進地等について
H29.2.21	視察研修	宮崎県西米良村おがわ作小屋村
H29.2.27	第5回特別委員会	視察研修のまとめ
H29.5.24	第6回特別委員会	委員会報告のまとめ

5. まとめ

「平成27年10月に策定された『五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略』については、『誇れるふるさと五木村』をめざしてをキャッチフレーズに、中長期的な視野に立って、国の総合戦略5原則、自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視に則った平成27年度から平成31年度までの5年間を対象期間とする施策のものである。

五木村議会では、平成28年度に地方創生に関する特別委員会を設置し、行政や住民だけでなく議会としても課題克服に向けて深く議論をする必要があると認識し、協議を重ねてきた。

特別委員会としては、数回にわたる会議や研修を行った中で浮き彫りとなった五木村の著しい少子高齢化や目指す産業振興の取り組みをもとに、若年層の村外流出防止、産業と雇用の創出、移住定住の促進、交流人口の拡大、若い世代の希望の実現（結婚、妊娠、出産、育児）、地域コミュニティの維持などにより、地方創生の理念である「個性豊かで魅力ある地域社会」、「潤いのある豊かな生活」、「日常生活の基盤となるサービス提供確保」、「結婚・出産・育児に希望を持てる社会」、「仕事と生活の調和」、「魅力ある就業機会の創出」等の実現に向けて、今後も行政執行部が積極的に取り組まれるよう強く要望する。

なお、総合戦略に掲げる施策の推進にかかわらず、日本全体の人口減少傾向は続いていくと思われるため、関係機関や村全体と危機感を共有しながら、従来からの施策の反省に立ち、他市町村と同様な取り組みから抜け出るようなものを期待する。

さらに、戦略の計画、実行、評価、改善（PDCAマネジメントサイクル）を確立したうえで、重要業績評価指標（KPI）の結果についても進捗状況を随時示すことで施策の充実に反映されるよう重ねて要望し、提言されるよう報告する。



村民の収入面での直接効果は

和田村長 今計画しているものを
着実に実施していく



山本 豊 議員

質問 和田村長29年度施策方針10項目

- (1) 平成28年度熊本大地震から一年
- (2) 地域コミュニティの確立と基盤整備
- (3) 交流人口の拡大に向けて
- (4) 道路砂防施設の強化
- (5) 魅力ある移住定住支援対策
- (6) 農林業の振興に向けて
- (7) 展示場提供について
- (8) 情報通信整備の強化
- (9) 五木源パークで県民体育祭が開催
- (10) 29年度も各施策に積極的に取り組む

村民の収入面での直接効果に結び付けていく課題。村民の意見の反映を一番に取り組まれる村長の方針を伺いたい。

村長

・ 施政方針については交流人口の増大、林業による収入増大、道の駅関係、物産館の展開、交流人口については、今後さらに「ヒストリアテラス五木谷」も含め、交流人口を増やし、五木物産の努力、村民所得向上に努めていきたい。林業の関係では、議会にお願いし、高性能林業機械等の補助事業を積極的に取り入れ林業従事者の方々の確保に努め、山元に還元できるよう努力している。全体的に波及効果を及ぼしたい。



「ヒストリアテラス五木谷」



岡本 正 議員

産業の起業支援はできないか

和田村長 現在の制度で優遇策は取っている

質問 雇用対策として村長はいろいろ取り組まれていますが、若者の就業の場が少ない。企業誘致は条件整備等で厳しいので、小さな産業を立ち上げるほかにないか。産業の起業支援はできないか。

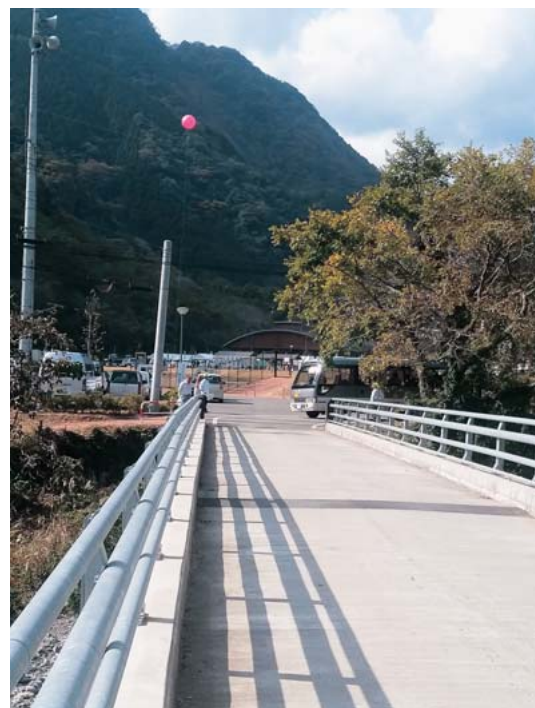
村長 五木村は、商工振興補助金要綱を定めており、最高金額2,500万円までの制度は設けている。その他、新規雇用の場合1年間60万円であるとか、加工施設とかいろんな助成策は設けているが、今まで数十件はあったが、広報が足りないのかもしれないが、あまりご利用がない。基金の話では、1億円程度の基金造成をしておいて、その中

が必要だと思う。産業の起業基金をつくったらどうかと思うが、村長のお考えを伺いたい。

祭りでの送迎支援は

質問 住民から「新緑祭り」や「子守唄祭り」に行きたいが車がないので行けない、村から車を出してもらえないかと言う話を聞くが、住民サービスとして対応できないか。

村長 村でも大きな催し物として「新緑祭り」、「子守唄祭り」、「敬老式典」などがあるが、子守唄祭りや敬



五木源パークの入口付近

老式典では朝迎えに行き、夕方お送りするという形ではしている。ただ、中間でのお帰りの場合、不便性はあると思う。

質問 祭りもたくさんあるわけではないので、いつも外に出る機会が少ない人たちに楽しみをつくってやることも生きがい対策であると思うので、ぜひ、実施していただきたい。

村長 高齢者も多くなっているところもあり、ぜひ祭りには皆さん来ていただきたいという思いがあるので、中身の充実については、祭りの実行委員会とも検討させていきたい。

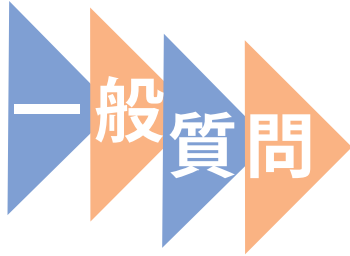


祭り会場の様子



コンビニと コインランドリーは

和田村長 実現に至っていない



早田吉臣 議員

質問 「ふるさと五木村づくり」計画の現在の進捗状況はどれくらいなのか。

村長 事業費ベースで70数パーセント、具体例として高齢者の要介護認定率が全国平均より7〜8%下回っていたり脳ドックの利用等で健康、衛生面で効果が上がって来たと思う。

質問 若者、壮年世代、子育て世代の健康対策はどのようなになっているのか。

村長 高齢者に目が向きがちで、中堅層は一生懸命に働いていて健康が当たり前という感覚なので目が届かないところがあり、十分に手が届くよう進めていくべきと思っている。

質問 計画成果の検証は村長自身でされたのかそれとも課長会等で精査、検証をされたのか。

村長 各課題を各事業ごとに担当課に振り分けて行っている。また、全体的には再建対策本部でも反省や次年度の方向性を踏まえているところ。一番大きな評価としては住民代表である議会の決算委員会等のご意見を指針としている。

質問 定住促進のため事業展開されたコンビニエンスストアとコインランドリーの設置調査はその後の経過と結果はどうなったのか。

村長 コンビニについては、24時間営業となると経営的には赤字となり、コインランドリーについては、設備投資が2000万円〜2500万円、対象客が3000人位無いと採算が獲れないということで実現に至っていない状況にある。

質問 採算が取れないのであれば、発想の転換でランドリーの衣類乾燥機が10万円で購入出来るとして200万円であれば200台購入出来るので、今の世帯数が500世帯少しなので検討すべきではないか。

村長 村内世帯が約500世帯なのですべての方が使う事とは別にして検討させて頂きたいと思う。

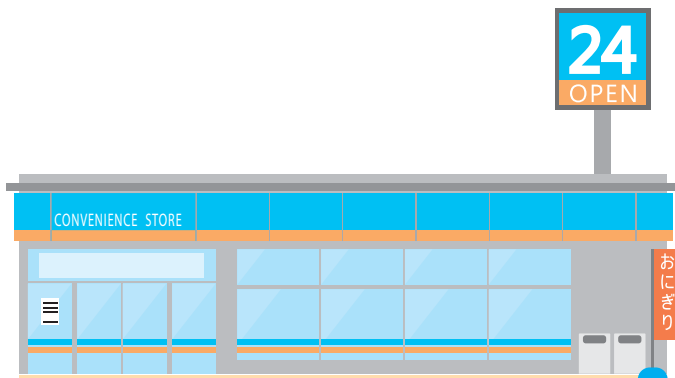
若者会議の設置は

質問 このような意見は、若者世代から出て来た事なので若者世代の意見を聞く場「若者会議」などを設けたらと思うのだが。

村長 毎年度の事業説明会など世帯主などが主に出席されていて、働き盛りの方の出席が少ないので懇談会などのような場で聞く必要はあると思っている。

質問 「ふるさと五木村づくり」計画は平成30年度で終わるが、その精査とその後計画はどうなるのか。

村長 あと2年間で進捗を図り、計画については熊本県に「五木村振興条例」があつてこれは時限立法ではない。30年度で終わりという事ではないので基金も含めてお願いしていきたい。



コンビニエンスストアイメージ

蒲島県知事・県議会岩下議長へ要望

(平成 29 年 6 月 8 日)

蒲島県知事の川辺川ダム建設の白紙表明により、ダム事業を巡る状況は一変した。平成 23 年 6 月の国・県・村による「五木村の今後の生活再建を協議する場」での合意に基づく残事業、特に国道 445 号九折瀬地区の道路は住民の重要な生活道路であり早期の完成、また主要地方道 宮原五木線八代側の改良工事に着手すること、国・県が進めてきたダム事業施策の影響で人口の減少は大きく、村民生活、再生再建の取り組みを要望した。

県側出席者

蒲島県知事、田嶋副知事、企画振興部長、地域文化振興局長、土木部長、道路整備課長、川辺川ダム総合対策課長

県議会側出席者

岩下県議会議長、溝口副議長、松田県議、緒方県議

五木村側出席者

和田村長、議長他議員 9 名、議会事務局長

要望事項

- ・ 国道445号九折瀬地区については、国・県・村の三者協議の経緯を踏まえ平成32年度までに完成すること。
- ・ 主要地方道 宮原五木線の更なる整備に向けて早期に設計に着手すること。
- ・ 村民の生活再建に必要な施策の積極的な支援。



県知事へ



県議会議長へ

田山淳士 議員、早田吉臣 議員 地方自治功労賞を受賞

本年2月に開催されました熊本県町村議会議長会第67回定期総会におきまして両名の方が表彰を受けられました。



田山淳士議員におかれましては、熊本県町村議会議長会会長より23年以上の在職の自治功労と、早田吉臣議員におかれましても、全国町村議会議長会会長より15年以上在職と、熊本県町村議会議長会会長より同じく在職15年以上の自治功労の表彰をそれぞれ受けられました事をご報告いたします。

● 議会の動き (5月～7月) ●

- 5** 9日 5月定例全員協議会
10日 5月定例郡議長会
人吉下球磨消防組合全員協議会及び臨時議会(中村議員)
12日 郡町村監査委員連絡協議会定期総会(岡本監査委員)
15日 経済常任委員会
人吉下球磨消防組合例月監査(中村議員)
溝口県議会副議長就任祝賀会(議長ほか)
17日 人吉下球磨消防組合議会議員視察研修(～19日 中村議員)
18日 郡町村議会事務局長会議
21日 保小中高合同運動会
22日 県議長会研修会(議長、事務局長)
23日 五木村商工会総会(議長)
24日 地方創生に関する特別委員会(全委員)
臨時全員協議会
25日 例月監査(岡本監査委員)
26日 人吉球磨広域行政組合第2回臨時会(田山議員、山本議員)
31日 全国町村議会議長・副議長研修会(～6/1 議長、副議長)

- 6** 5日 県議長会臨時総会(議長)
6日 定例郡議長会
7日 ダム事業説明会(全議員)
6日 定例全員協議会

- 8日 議会運営委員会
県知事及び県議会議長要望(全議員)
9日 人吉下球磨消防組合例月監査(中村議員)
13日 平成29年第2回議会定例会(～14日閉会)
21日 広報委員会
22日 郡監査協議会役員会(事務局代理出席)
23日 例月監査(岡本監査委員)
29日 人吉地区防犯協会連合会評議員会(議長)
30日 県道小鶴原女木線期成会総会(議長)

- 7** 5日 定例全員協議会
10日 人吉下球磨消防組合例月監査(中村議員)
12日 広報委員会
県道五木湯前線・幸野染田線期成会総会(議長、経済常任委員長)
13日 川辺川ダム建設促進協議会総会、合同期成会総会(議長)
7月定例郡議長会
18日 五木村議会議員一般選挙告示日
23日 五木村議会議員一般選挙投票日
25日 県町村監査委員連絡協議会臨時総会及び研修会(監査委員、事務局長)
26日 例月監査(岡本監査委員)

五木の重々物 植物シリーズ No.6



ヤマボウシ

ミズキ科サンシュ属 別名ヤマグワとも言われる。西洋ハナミズキに似るが別種であるが、ハナミズキと呼ぶところもある。4枚の白い花びらに見えるところは総苞と言われるところで実際の花はその中心部に咲く。見た目は緑の果実の様に見えるが、秋ごろに赤く熟すと食べられるそうだ。筆者は野生のヤマボウシを下梶原の奥地にて初めて見かけた。県有林の中にポツンと咲いていたので誰かの手植えかと思われたが定かではない。花期は6月の半ば頃である。



ミズキ

ミズキ科サンシュ属 別名クルマミズキ、本村内では多くミズシと呼ばれ、枝先を水平に長く伸ばし棚を重ねたように見えるのには、棚ミズシ、函鑑などでクマノミズキと紹介してあるのには、アカミズシとかカタミズシなどと呼ぶようである。名前の由来は春先に枝先を切ってみると水が滴り落ちるところからともいわれている。花期は6月から7月半ば頃まで山間の谷筋などで多く見かける。

編集後記

平成29年第2回五木村議会6月定例会が任期中最後の本会議となった。4年間の経つのは早いものである。

議会としても、この間、産業振興、雇用対策、就労の場の確保等の重要な問題に取り組んできた。五木村の再生再建はこれからである。この件について、

去る6月8日に蒲島県知事、岩下県議会議長へ和田村長とともに全議員で要望を行った。道路網の整備を重点に村の再生再建には県政の後押しが必要であることは今後も変わらない。

翌日は益城町のテクノ仮設団地内にある「くまもと型復興住宅」のモデル住宅展示場の一角に、わが五木村の葉枯らし乾燥スギ材を使った「五木源(ごきげん)住宅」が建築してあるということで見学した。五木産材の産直住宅を進めて森林で自立する村づくりができるようお願いしたい。

最後になったが、今後も台風など気象の変化に留意され、安全対策には十分気を付けて過ごしていただきたい。広報委員会も任期中最後の編集後記となった。これからも議会広報に村民の皆様のご協力ご支援をお願いして締めくくりとする。(山本)



ヤマアジサイ

次回の定例会は九月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：尾方 芳郎氏